

手賀沼が海だったころ

活動報告 7月～9月

●7月26日（日） 平成27年度第3回歴史講座

『資料に見る小金牧～柏市発展の原点～』開催

本年度第3回目となる歴史講座が、柏市教育委員会文化課・高野博夫氏を講師に7月26日午後1時半より柏市中央公民館集会室にて開催されました。

昨年10月4日～今年1月12日にかけて柏市郷土資料展示室で開催されていた『小金牧展』の内容を改めて分かりやすく解説してくださいました。

古くから下総には官制の牧があり軍馬を育成していたようです。そして、柏市を含む東葛飾地域は江戸時代の小金牧に位置しています。その小金牧が、どのようにして近代的な都市へと



←小金牧への関心の高さを示す満員の講座となりました。

変貌していったのか、小金牧の事を知ること、理解することができるのです。

昨年の『小金牧展』を見に行った方も見に行けなかった方も、柏市が近年大きく発展した理由について、腑に落ちる講座となったようです。

資料として、柏市より『小金牧展』で配布された冊子を提供いただき、その他に当会独自の資料として、豊四季の略年表や豊四季開拓百年記念碑の碑文を書きとめたもの、更に小金牧関連オリジナル絵葉書を、参加者全員に配布しました。

●8月22日（土） 平成27年度第4回歴史講座

『不戦の誓い新たに 柏飛行場と陸軍飛行戦隊』開催

本年度第4回目となる歴史講座が、柏市中央公民館集会室で午後1時半より開催されました。これに合わせて、公民館和室では、貴重な戦時中の写真をはじめ、実際の軍服や、現在の様子を示す写真、飛行機の模型なども展示されました。

参加者の中には、実際に戦争体験者の方もいらして、展示資料の前でご自身の体験を語り合う方たち、そして、それに耳を傾ける若い方の姿も。

終戦70周年という節目の年にふさわしい、改めて戦争を考える講座となったようです。



←貴重な写真やグッズが展示され、シニアの方々の関心が高かったようです。

→参加者の皆さんは、平和への誓いを新たにしていました。



●9月27日(日) 平成27年度第5回歴楽講座

『花野井大洞院にきた石碑「無邊洞」と渡邊国武について&

手賀沼エコマラソンはこうしてスタートした!』開催

第5回歴楽講座は、当会とも深い関係にあるたけしま出版の竹島いわお氏を講師に迎え、柏市沼南公民館多目的ホールで午後1時半より開催されました。

昨年11月柏市内花野井にある大洞院境内で、盛大に石碑の除幕式が行われました。実はこの石碑、明治時代第2次伊藤博文内閣で大蔵大臣を務めていた渡邊国武子爵の自宅庭にあった「無邊洞」と彫られた石碑です。

この石碑と渡邊国武について、竹島氏自身が調べた事を話して下さいました。



また、手賀沼エコマラソンについてでは、9月にたけしま出版より「手賀沼ブックレット」シリーズの1冊として『市民マラソンの原点 手賀沼エコマラソン』が発行されたのを受け

←竹島氏は出版を通じて地域に貢献しています。



て、この本が出版された経緯や意義をお話し下さいました。

幹事会からのお知らせ

●今年も『松ヶ崎城お城祭り』を開催いたします。

昨年は市立中央高校吹奏楽部の生徒さん達が演奏をしてくださり大好評だったお城祭り。今年も下記の通り開催することになりました。今回は新たな演奏者が参加して下さいます。ぜひお誘い合わせの上ご参加ください。

日 時：2015年11月15日(日) 10時~15時半

場 所：松ヶ崎城跡

(駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。)

内 容：城跡見学会(解説付きで午前と午後に各1回を予定)

歌と演奏

(アコーディオン、三味線、尺八、クラシックギター、詩吟、他)

いろいろな物販なども計画中!



また、幹事会ではお城祭りの日にお手伝いして下さる方を募集しております。お城祭りを参加者全員と一緒に楽しみたいと考えていますので、ぜひお手伝いが可能な方は事務局までご連絡ください。

会員便り

●故・川上初代会長を偲んで

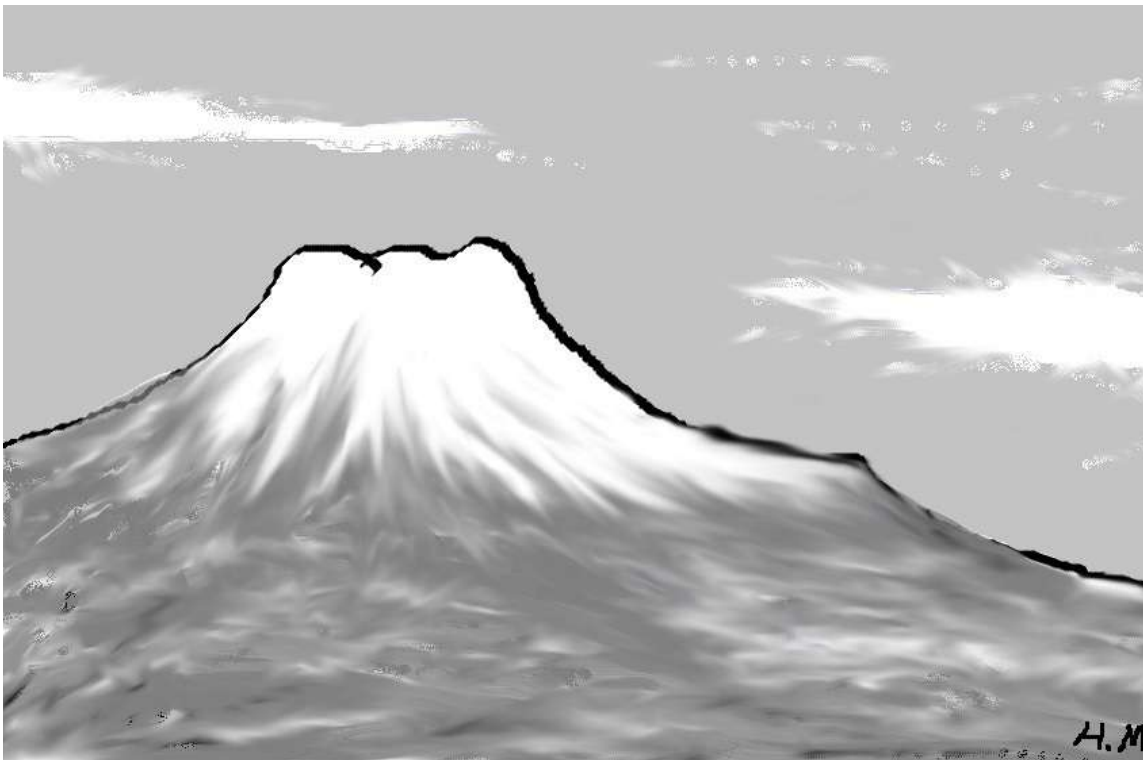
会長 森 伸之

実は9月8日の16時過ぎと聞きましたが、手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会の初代会長で、ずっと当会の役員をされていた川上利男さんが急逝しました。脳出血のためです。つい最近、8月16日ですが、川上さんを含めて役員3名

で松ヶ崎城跡地主の増田さん宅を訪ねたのが、私が川上さんと会った最後となりました。

川上さんは1999年に当会が発足して初代会長となり、2005年に会長を退任してからも、一時会長代行をつとめ、その後も幹事とし

て会の活動を支えてきました。松ヶ崎城跡の遺構や自然環境を守ることが、残された者の勤めと思います。川上さんのご冥福を祈り、今はただ安らかにと念じるのみです。



川上さんの葬儀については、ライフケアメモリアルパーク柏にて、9月10日にお通夜、翌11日に告別式と、喪主の御子息、御親戚、近所の方や当会メンバー、柏市教育委員会学芸員などの参列のもとでしめやかに執り行われました。

なお、2009年度の活動で、松ヶ崎城跡に植樹するというものがあり、樹木里親の募集、2010年2月11日の柏ロータリークラブ・ボーイスカウトによる植樹に続き、樹木里親による植樹も雨天で延期になったものの、同年3月1日に行われまし

た。それを当会のなかで主導して推進したのが、当時の川上会長代行です。私は当時副会長でしたが、その頃書いた文章を一部手直しして、以下に掲示します。

<2010年2月～3月の松ヶ崎城跡における植樹>

松ヶ崎城の植樹が去る2010年2月11日に、柏ロータリークラブにより行われました。さらに、2月28日には手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会と柏市がタイアップして、植樹を市民の「里親制度」によって行うことになっています。この「里親制度」は、植樹サポーター制度であり、市民が一人2千円を出して、集団で苗木を購入し、買った苗木を植えて市に寄贈するというもの。

ロータリークラブの方の植樹には、この間行ってきましたが、作業はボーイスカウトが形式上行ったのですが、実際の植え付けには園芸のプロの技術が必要でした。それで造園会社か何かの人が最後は面倒見ていたようです。ボーイスカウトの子たちにとっても、植樹とは何かを知ったことも含めて、良い経験をしたかもしれません。

ロータリークラブの植樹では、柏市長の秋山浩保さんをはじめ、わが松ヶ崎城の会の川上会長代行が来賓で、あと柏市役所の文化課からは課長や学芸員のおなじみの面々が来ていました。小生は写真を撮りに来たただけであるのに、ロータリークラブ会長や柏市長の秋山さんとも、名刺交換をしました。

われわれにとっては、今度の2月28日の方が本番。見学会をあわせてやることになっていて、そのために資料を増刷したり、やることはいろいろあります。植樹は河津桜を50本ほど植えるのですが、桜の中でも丈夫な品種とのことで、2、3年後には花を咲かせるらしいです。シンボルツリーを将来的に植えるのですが、そちらはまだ何を植えるか決まっていません。[*1]昔の植生なら、松なのですが。大きな松二本と桜では

変でしょうか。柏市だから、柏？ 専門家に考えてほしいけれど、なぜか植樹も柏市の文化課が担当、松ヶ崎城の会も歴史系というのか、少なくとも植物に詳しい人の集まりではありません。

それはともかく、今度の市民の「里親」による植樹祭では、小生も設営の指揮やら、事後もいろいろやることになっているので、準備をきちんとしておきたいと思っています。

[*2](2010.2.20 森)

*1 シンボルツリーの植樹は2011年3月27日に実施しました。ちょうど東日本大震災の直後でした。シンボルツリーとしては東北に多く自生するカツラの木を選びましたが、それも広葉樹で大きくなり、香りも良い等、植物に詳しい川上さんの意見をもとに決めました。↓シンボルツリーの植樹の様子



*2 実際の樹木里親による植樹祭は雨天のため中止、植樹だけは同年3月1日にプロの手で行われました。←ロータリークラブの植樹での秋山・柏市長、向かって左が川上会長代行(当時)

< 柏市長への植樹樹木の目録贈呈 >

樹木里親の会として植樹した樹木の目録贈呈は、2010年3月3日(水)に柏市役所市長室で行われました。翌3月4日(木)付朝日新聞の東葛版にも、当会が植樹樹木の里親を募集し、植樹した樹木を柏市に寄贈

するために、柏市長に目録を贈呈した件についての記事がのりました。それは、松ヶ崎城跡の植樹と植樹された樹木の柏市への贈呈式について記載しています。

下の画像は、樹木の目録を秋山浩保・柏市長に贈呈

する際に、目録の内容を川上会長代行が読み上げているところのものです。

目録贈呈、記念花束贈呈は、一家で樹木里親になったご家族のお子さんたちがおこないました。

(2010.3. 森)



↑ 柏市長に贈呈する目録を読上げる川上会長代行(当時)

メーリングリストに登録していらっしゃる方はご覧になったかと思いますが、葬儀には幹事や個人的なお付き合いのあった方等多くの方が参列。多くの方々からとても慕われていた方なのだと、改めて感じました。心からのご冥福をお祈りいたします。

(編集部)

●『第2回お気楽散歩』からのご報告

新名 克子

2回目のお気楽散歩、今回は「東京を水の上から眺めましょう!?? 水の都。東京の5大運河探検貸切クルーズ」という旅行社の企画に乗りまして9月21日、9名の参加者を得まして楽しんできました。

「デーメテール千疋屋」でお食事とおしゃべりに花を咲かせた後、日本橋の袂からクルーズ船は出発。秋日和の中、日本橋川、隅田川に架かる橋を眺めながら進み出しました。芭蕉公園に横たわる芭蕉像を左手に見ながら小名木川へと船は進み、日本のパナマ運河と称されている扇橋閘門を体験。

2枚の大きな鉄板の水門に挟まれた川の中で2メートルほど水位を下げていくという、船のエレベーターを体験。流石に歓声が上がりました。その鉄板の水門の下をくぐるときは水滴がしたたり落ち、慌ててビニール傘を広げるのも一興でした。



↑扇橋閘門では鉄板からの大量の水滴に歓声が。

白鷺、黒鷺の出迎えを受けながら船は横十間川、北十間川へと進み、東京スカイツリーの真下に。運よく「逆さツリー」も堪能できました。

現代の技術の粋を象徴するスカイツリーと江戸の繁栄の象徴でもあった運河。縦横に張り巡らされた運河を進みながら、改めて“江戸は水の都”“だったのだな”と実感です。

利根川、江戸川、荒川を下ってきた高瀬船が東北地方などの米や産物などを積みながら、江戸の中心・日本橋を目指して行き来していたのだなあーと一服の絵を見るような感慨深いもの



がありました。

この両方を同時に体験できることの面白さ!

同じ航路をゆっくり戻りながら、川鶺や都鳥にも出会え感激。在原業平の詠んだ「名にし負わばいざ…都鳥」の歌がちらりとよぎります。船運から陸運へという時代の流れに翻弄されながら、歴史を刻んできたのかと思いますと、都鳥を眺めながら郷愁に誘われました。

日常の生活の視点とは少し異なった角度から、街を眺めてみるのも乙なものでした。



↑十間堀で、逆さスカイツリーを見ることができました。

←日本橋を下から見上げるという経験はここだけのもの。実は日本橋には、関東大震災や東京大空襲の記憶も秘められています。

●『徳川の城～天守と御殿～』展に行ってきました

藤田 理恵子

去る9月24日(木)に、江戸東京博物館で開催されていた『徳川の城～天守と御殿～』展に行ってきました。平日にもかかわらず、会場内は人でいっぱい。関心の高さを思い知らされました。

会場内は「天下普請」「塔のような天守」「荘厳なる御殿」「エピローグ」4つのコーナーに分かれ、現在はその大半が失われてしまった江戸城の、築城当時の様子が分かる絵画や地図等の貴重な資料が展示されていました。また江戸城だけではなく、徳川と関わりの深い駿府城、大阪城、二条城、彦根城、亀山城、福井城など、多くの城の図面も展示されていました。

個人的に印象に残っているのは、江戸初期に描かれたという江戸図屏風でしょうか。これは六曲一双の屏風で、江戸時代前期のもの。明暦の大火以前の江戸城とその周囲を描いた貴重なもの。徳川家光の事績を顕彰するために制作されたとか。

各所に細かく人物が描き込まれ、当時の江戸の賑わいが伝わってきます。

そして、エピローグで展示されていた写真のガラス原板。こちらは、明治時代になってからの江戸城とその周辺の様子がよく分かります。時代が変わり、草ぼうぼうになった本丸や天守台、崩れかけている門などが、まさに時代の終焉を示しているようでした。



↑常設展示場にある江戸城の模型。

また、今年3月28日に常設展示場がリニューアルオープンされていたのですが、なかなか見に行く機会がなかったので、改めてこちらも見学してきました。

こちらは写真撮影OKの場所が多数あるので、いくつかの場所で撮影。その写真の一部をご紹介します。



↑明治時代の浅草にあった電気館の模型。浅草はまさに娯楽の殿堂だった。



←江戸時代の日本橋の賑わいを再現した模型。近くには芝居小屋もありまさに江戸の中心。

→江戸時代の寺子屋を再現した実物大展示。他にも長屋の生活を想像させる職人の部屋等もあります。



情報広場

このコーナーでは会員の皆様から寄せられた情報や、編集部が見つめてきた情報等、様々な情報をご紹介します。

●流山市・三本松古墳の発掘現場で見学会を開催！

流山市で発掘調査中の三本松古墳で11月28日(土)に現地説明会が開催されると、小金城跡をご案内して下さった田嶋昌治先生よりご連絡がありました。

参加希望者を流山市の広報や博物館で募集しているとのこと。

東葛飾地域の歴史を語る上で重要な古墳ですが、市の文化財とはなっておらず、実際に見学できる機会は大変貴重。興味のある方は流山市立博物館(Tel 04-7159-3434)までお問い合わせを。

また、田嶋先生主宰の「小金の緑と文化財を守る会」では12月に東京都内の史跡めぐりを企画されているそうです。詳細は、田嶋先生(Tel・Fax 047-343-2467)まで。

●柏市郷土資料展示実にて『金陵—近代日本を見据えた松ヶ崎の大儒—』展を開催中！

幕末の動乱期に、歴史上の偉人達と交流のあった儒学者がいました。幕府直轄の学問所「昌平坂学問所」で教鞭をとっていた芳野金陵です。彼はなんと松ヶ崎

村(現在の柏市松ヶ崎)の出身。

この金陵とはどのような人物だったのか、またどのような人たちと交流があったのかを紹介する展示です。来年2月28日(日)まで。

また、この展示に合わせて10月24日(土)と11月8日(日)、11月14日(土)に歴史講演会が開催されます。詳細は柏市教育委員会文化課(Tel 04-7191-7403)までお問い合わせください。

●佐倉市・国立歴史民俗博物館で『大久保利通とその時代』展開催中！

国立歴史民俗博物館では、大久保利通関連の資料を多数収蔵していますが、その内3053点が2004年に重要文化財に指定されたそうです。さらに、今年新たに寄贈された追加資料等もあるとか。今回の展示会では、これらの豊富な資料の数々を展示紹介。中でも大久保が様々な人物と交わした書簡は、まさに生の時代の証言者。大久保の人物像とその時代を雄弁に語ってくれるのでは。会期は12月6日(日)まで。

また、関連して11月14日(土)に歴博講演会が行われます。詳細は博物館(Tel 03-5777-8600)まで。

編集部より

すっかり秋の陽気となりましたが、皆さんはいかががお過ごしですか？ 史跡巡り等には良い気候です。せひ、史跡巡りなどに行かれた方は、レポートをお寄せ下さい。その他のお便りもお待ちしています。

次回の会報発行予定

1月24日(日)

原稿締め切り

12月31日(木)

原稿内容

研究論文、紀行文、エッセイ、小説。写真、イラスト、なんでもOKです。字数の制限などありません。会報の1ページには約1700字ほど入りますので、それを目安にしてください。

手賀沼が海だったころ

手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会会報 第31号 2015.10.18

発行人：森伸之 編集人：藤田理恵子

年会費2千円 振込先：千葉銀行 柏支店 口座番号3461475